■避難確保計画を作成するにあたっての様式です。

■作成例ですので、各施設の状況にあわせて内容を修正してください。

■特に赤字で記載の箇所（○○○○と記載の箇所など）について、記入修正してください。

■記入方法等のコメント（吹き出し）は削除してください。

〔施設名〕

洪水時の避難確保計画

令和○年○○月○○日　作成

**長野県松川村施設用**

**目　次**

１.計画の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

２.計画の適用範囲・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

３.防災体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

４.防災気象情報と警戒レベル相当情報　・・・・・・・・・・・・・・・・・２

５.情報収集及び伝達・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３

６.避難誘導・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５

７.避難の確保を図るための施設の整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・６

８.防災教育及び訓練の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６

９.自衛水防組織の業務に関する事項（自衛水防組織を設置する場合に限る。）・７

別表１・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・･８

別表２・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・･８

別紙○「避難経路図」

※自衛水防組織を設置しない場合は、P7～8の行は削除する。

別紙○「施設内緊急連絡網」

別紙○「利用家族（保護者）緊急連絡網」

※各連絡網は施設にて任意様式で作成し、名称は適宜変更する

・施設内緊急連絡網は施設従業員の連絡網

・利用家族緊急連絡網は、入所者家族（学校等の場合は保護者）の連絡網

※各連絡網は村への提出は不要です。

#

# **１．計画の目的**

この計画は、水防法第15条の３第１項に基づくものであり、「○○○○（施設名）」利用者の洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的とする。

# **２．計画の適用範囲**

この計画は、「○○○○（施設名）」に勤務又は利用する全ての者に適用するものとする。

24時間利用の施設（入所介護施設）は次の（１）（２）（３）の行を削除し、表から記載する

し、表以降を記載する

# **３．防災体制**

　避難確保体制とする対応順位及び行動

（１）台風情報、大雨の予報(長雨、前線)により災害が予想される場合(注意体制)には、施設の開所、開設をしないこととする。

（２）施設開所中に天候の悪化、大雨注意報等の情報を入手した場合(警戒体制)には、利用者を帰宅させる又は家族等に連絡すると共に確実な引き渡しを行うこととする。

（３）施設開所中に高齢者避難等避難確保が必要となった場合には、非常体制のとおりとする。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 体制確立の判断時期 | 活動内容 | 対応要員※ |
| 注意体制 | * + 洪水注意報の発表
	+ 氾濫注意情報の発表
	+ 気象庁危険度分布「注意」（黄）
 | 洪水予報等の情報収集 | 情報収集伝達要員 |
| 警戒体制 | * 高齢者等避難の発令
* 洪水警報の発表
* 氾濫警戒情報の発表
* 気象庁危険度分布「警戒」（赤）
 | 洪水予報等の情報収集 | 情報収集伝達要員 |
| 使用する資器材の準備 | 避難誘導要員 |
| 利用者家族(又は保護者)家族への事前連絡 | 情報収集伝達要員 |
| 周辺住民への事前協力依頼 | 情報収集伝達要員 |
| 要配慮者の避難誘導 | 避難誘導要員 |
| 非常体制 | * 避難指示の発令
* 氾濫危険情報の発表
* 気象庁危険度分布「非常に危険」（うす紫）
 | 施設内全体の避難誘導 | 避難誘導要員 |

* 上記のほか、施設の管理権限者（又は自衛水防組織の統括管理者）の指揮命令に従うものとする。

※自衛水防組織を設置する場合には、それぞれ対応する自衛水防組織の班編成及び要因の配置を追記する。

**４．防災気象情報と警戒レベル相当情報**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 警戒ﾚﾍﾞﾙ | 状況 | 行動を促す情報 | 住民が取るべき行動 | 防災気象情報 |
| 洪水等に関する情報 | 土砂災害に関する情報 |
| 水位情報がある場合 | 水位情報がない場合 |
| ５ | 災害発生又は切迫 | 緊急安全確保 | 既に災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動をとる。 | 氾濫発生情報 | 大雨特別警報（浸水害） | 大雨特別警報(土砂災害) |
| ４ | 災害のおそれ高い | 避難指示 | 速やかに避難を完了する。移動が危険と思われる場合は、安全な場所へ避難する。 | 氾濫危険情報 |  | 土砂災害警戒情報 |
| ３ | 災害のおそれあり | 高齢者等避難 | 避難に時間を要する人、災害時避難行動要支援者の方は、避難を開始。 | 氾濫警戒情報 | 洪水警報 | 大雨警報(土砂災害) |
| ２ | 気象状況悪化 | 洪水、大雨注意報 | 災害に備え、自らの避難行動を確認する。 | 氾濫注意情報 |  |  |
| １ | 今後気象状況悪化のおそれ | 早期注意情報 | 災害への心構えを高める。 |  |  |  |

**５．情報収集及び伝達**

(１)情報収集

* 収集する主な情報及び収集方法は、以下のとおりとする。

|  |  |
| --- | --- |
| 収集する情報 | 収集方法 |
| 気象情報 | テレビ、ラジオ、情報提供機関のウェブサイト等 |
| 洪水予報、水位到達情報 | 松川村からの広報、情報提供機関のウェブサイト等 |
| 避難情報(避難指示等) | 松川村からの広報、yahoo防災情報、テレビ、ラジオ、緊急速報メール(エリアメール)等 |

* 停電時は、ラジオ、タブレット、携帯電話を活用して情報を収集するものとし、これに備えて、乾電池、バッテリー等を備蓄する。
* 提供される情報に加えて、雨の降り方、施設周辺の水路や道路の状況、斜面に危険な前兆が無いか等、施設内から確認を行う。

(２)　雨に関する情報

①気象情報の種類

○大雨注意報（長野地方気象台が発表）

大雨注意報は、大雨により災害の起こるおそれがある旨を警告して発表される。

○大雨警報（長野地方気象台が発表）

大雨警報は、大雨により重大な災害の起こるおそれがある旨を警告して発表される。

○記録的短時間雨量情報（長野地方気象台が発表）

記録的短時間雨量情報は、大雨警報発表時に、降雨がその地域にとって災害の発生につながるよ

うな、稀にしか観測しない雨量であることを知らせるために発表される。

⇒長野地方気象台では、1時間雨量が100mmを超えた際に発表

②気象情報の確認

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報名 | 入手先 | 備考 |
| 大雨注意報 | 長野地方気象台HP<http://www.jma-net.go.jp/nagano/>長野県　河川砂防情報ステーション<http://www.sabo-nagano.jp/>　 | 全施設職員は、携帯電話の砂防モバイルサービスへ登録する。<http://www.mobile.sabo-nagano.jp/m/> |
| 大雨警報 |
| 記録的短時間雨量情報 |

③雨量・水位情報の確認

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報名 | 入手先 | 備考 |
| 雨量・水位情報 | 長野県 河川砂防情報ステーション<http://www.sabo-nagano.jp/>川の防災情報http://www.river.go.jp/index 川の水位情報<https://k.river.go.jp> | 「雨の状況」「川の水位と危険性」「川の予警報」等を確認する。 |

※参考　水位・気象情報

　水位・気象情報は、下記のＵＲＬにアクセスして情報を取得して下さい。

長野地方気象台HP



<http://www.jma-net.go.jp/nagano/>



長野県　河川砂防情報ステーション

<http://www.sabo-nagano.jp/>

気象庁

<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

川の防災情報

http://www.river.go.jp/index

川の水位情報

<https://k.river.go.jp>

目次に記載した連絡網の名称と合わせる（以下同様）

(３)情報伝達

* 別紙○「施設内緊急連絡網」に基づき、気象情報、洪水予報等の情報を施設内関係者間で共有する。
* 警戒体制下で非常体制に移行するおそれがある場合には、別紙○「利用家族（保護者）緊急連絡網」に基づき、利用家族（保護者）に対し、「非常体制に移行した場合には○○○○（避難場所）へ避難する」旨を連絡する。
* 非常体制に移行した場合には、別紙○「利用家族（保護者）緊急連絡網」に基づき、保護者(利用家族)に対し、「非常体制に移行したので、○○○○（避難場所）へ避難する。利用者（又は児童）引き渡しは○○○○（避難場所）において行う。利用者（又は児童）引き渡し開始については、追って別途連絡する。」旨を連絡する。
* 避難の完了後、別紙○「保護者(利用家族)緊急連絡網」に基づき、保護者(利用家族)に対し、「避難が完了。これより○○○○（避難場所）において利用者（又は児童）引き渡しを行う」旨を連絡する。

#

# **６．避難誘導**

(１)避難場所

* 洪水時における避難場所は、「○○○○（避難場所）」とする。
* 周辺の浸水の状況や利用者の健康状態等により上記避難場所への避難が困難な場合には、一時避難場所として本施設○棟の２階へ避難するものとする。

(２)避難経路

* 洪水時における避難場所までの避難経路については、別紙○「避難経路図」のとおりである。

(３)避難誘導方法

* 施設外の避難場所に誘導するときは、避難場所（○○○○）までの順路、道路状況について説明する。
* 車両等により避難する場合には、警戒レベル３の発表と同時に避難するなどの余裕を持った行動に注意する。
* 避難誘導にあたっては拡声器、メガホン等を活用し、先頭と最後尾に誘導員を配置する。
* 避難誘導員は、避難者が誘導員と識別しやすく、また安全確保のための誘導用ライフジャケットを着用し、必要に応じて蛍光塗料を現地に塗布するなどして、避難ルートや側溝等の危険箇所を指示する。
* 避難する際には、ブレーカーの遮断、ガスの元栓の閉鎖等を行う。
* 浸水するおそれのある階または施設からの退出が概ね完了した時点において、未避難者の有無について確認する。

# **７．避難の確保を図るための施設の整備**

* 情報収集・伝達及び避難誘導の際に使用する主な設備及び資器材については、下表「避難確保資器材等一覧」に示すとおりである。
* これらの資器材等については、日頃からその維持管理に努めるものとする。

避難確保資器材等一覧※

|  |  |
| --- | --- |
| 活動の区分 | 使用する設備又は資器材 |
| 情報収集・伝達 | テレビ、ラジオ、タブレット、ファックス、携帯電話、懐中電灯、電池、携帯電話用バッテリー |
| 避難誘導 | 名簿（従業員、利用者等）、案内旗、タブレット、携帯電話、懐中電灯、携帯用拡声器、電池式照明器具、電池、携帯電話バッテリー、ライフジャケット、蛍光塗料施設内の一時避難のための水・食料・寝具・防寒具 |

* 自衛水防組織を設置する場合には、自衛水防組織の装備品リストを記載する。

# **８．防災教育及び訓練の実施**

* 毎年○月に新規採用等の従業員を対象に研修を実施する。
* 毎年○月に全従業員を対象として情報収集・伝達及び避難誘導に関する訓練を実施する。

※【９．自衛水防組織の業務に関する事項】は自衛水防組織を設置しない場合は記載不要

# **９．自衛水防組織の業務に関する事項**

* 別添「自衛水防組織活動要領」に基づき自衛水防組織を設置する。
* 自衛水防組織においては、以下のとおり訓練を実施するものとする。
* 毎年４月に新たに自衛水防組織の構成員となった従業員を対象として研修を実施する。
* 毎年５月に行う全従業員を対象とした訓練に先立って、自衛水防組織の全構成員を対象として情報収集・伝達及び避難誘導に関する訓練を実施する。

別添１　自衛水防組織活動要領

※自衛水防組織を設置しない場合は作成不要

（自衛水防組織の編成）

第１条　管理権原者（防火・防災管理者が設置されている場合にあっては、当該防火・防災管理者を管理権原者とする。以下同じ。）は、洪水時において避難確保計画に基づく円滑かつ迅速な避難を確保するため、自衛水防組織を編成するものとする。

２　自衛水防組織には、統括管理者を置く。

（１）統括管理者は、管理権原者の命を受け、自衛水防組織の機能が有効に発揮できるよう組織を統括する。

（２）統括管理者は、洪水時における避難行動について、その指揮、命令、監督等一切の権限を有する。

３　管理権原者は、統括管理者の代行者を定め、当該代行者に対し、統括管理者の任務を代行するために必要な指揮、命令、監督等の権限を付与する。

４　自衛水防組織に、班を置く。

(１)　班は、総括・情報班及び避難誘導班とし、各班に班長を置く。

(２)　各班の任務は、別表１に掲げる任務とする。

(３) 事務室（最低限、通信設備を有するものとする）を自衛水防組織の活動拠点とし、各班の班長を自衛水防組織の中核として配置する。

（自衛水防組織の運用）

第２条　管理権原者は、従業員の勤務体制（シフト）も考慮した組織編成に努め、必要な人員の確保及び従業員等に割り当てた任務の周知徹底を図るものとする。

２　特に、休日・夜間も施設内に利用者が滞在する施設にあって、休日・夜間に在館する従業員等のみによっては十分な体制を確保することが難しい場合は、管理権原者は、近隣在住の従業員等の非常参集も考慮して組織編成に努めるものとする。

３　管理権原者は、災害等の応急活動のため緊急連絡網や従業員等の非常参集計画を定めるものとする。

（自衛水防組織の装備）

第３条　管理権原者は、自衛水防組織に必要な装備品を整備するとともに、適正な維持管理に努めなければならない。

(１)　自衛水防組織の装備品は、別表２「自衛水防組織装備品リスト」のとおりとする。

(２)　自衛水防組織の装備品については、統括管理者が防災センターに保管し、必要な点検を行うとともに点検結果を記録保管し、常時使用できる状態で維持管理する。

（自衛水防組織の活動）

第４条　自衛水防組織の各班は、避難確保計画に基づき情報収集及び避難誘導等の活動を行うものとする。

別表1　「自衛水防組織の編成と任務」

統括管理者

統括管理者の代行者

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 総括・情報班 | 役職及び氏名 | 任　務 |
| 班長　○○○○班員○名　○○○○・・・ | * 自衛消防活動の指揮統制、状況の把握、情報内容の記録
* 館内放送による避難の呼び掛け
* 洪水予報等の情報の収集
* 関係者及び関係機関との連絡
 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 避難誘導班 | 役職及び氏名 | 任　務 |
| 班長　○○○○班員○名　○○○○・・・ | * 避難誘導の実施
* 未避難者、要救助者の確認
 |

別表２　「自衛水防組織装備品リスト」

|  |  |
| --- | --- |
| 任務 | 装備品 |
| 総括・情報班 | 名簿（従業員、利用者等）情報収集及び伝達機器（ラジオ、タブレット、トランシーバー、携帯電話等）照明器具（懐中電灯、投光機等） |
| 避難誘導班 | 名簿（従業員、利用者等）誘導の標識（案内旗等）情報収集及び伝達機器（タブレット、トランシーバー、携帯電話等）懐中電灯携帯用拡声器誘導用ライフジャケット蛍光塗料 |